

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 1 月 5 日 (2017.1.5)

【公開番号】特開 2016-105885 (P2016-105885A)

【公開日】平成 28 年 6 月 16 日 (2016.6.16)

【年通号数】公開・登録公報 2016-036

【出願番号】特願 2016-49847 (P2016-49847)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 11 月 17 日 (2016.11.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の遊技媒体を貯留可能な貯留手段と、

前記貯留手段に貯留された遊技媒体を通過口を介して発射位置に送り出す球送り手段と

、
前記球送り手段により前記発射位置に送り出された遊技媒体を遊技領域に向けて一つずつ発射可能な発射手段と、

を具備する遊技機であって、

前記球送り手段は、

金属板材における第 1 板面部を第 2 板面部に対して屈曲させて、遊技媒体に設けられた線材の進入しうる隙間が形成された不正防止部材を具備し、

前記金属板材における前記第 2 板面部の面積は、前記第 1 板面部の面積よりも大きく、

前記球送り手段には、前記不正防止部材を収容可能な収容部が形成され、

該収容部は、少なくとも前記金属板材における前記第 2 板面部を位置決めする位置決め部を有し、

前記金属板材には、遊技媒体に設けられた線材を前記隙間に向けて誘導可能な誘導部が設けられ、

前記通過口の一部が前記金属板材における前記隙間と連通しており、

前記球送り手段に対する前記金属板材の取付は、該金属板材における前記第 1 板面部以外の部位でなされるものである

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明は、

複数の遊技媒体を貯留可能な貯留手段と、

前記貯留手段に貯留された遊技媒体を通過口を介して発射位置に送り出す球送り手段と

、

前記球送り手段により前記発射位置に送り出された遊技媒体を遊技領域に向けて一つずつ発射可能な発射手段と、

を具備する遊技機であって、

前記球送り手段は、

金属板材における第 1 板面部を第 2 板面部に対して屈曲させて、遊技媒体に設けられた線材の進入しうる隙間が形成された不正防止部材を具備し、

前記金属板材における前記第 2 板面部の面積は、前記第 1 板面部の面積よりも大きく、

前記球送り手段には、前記不正防止部材を収容可能な収容部が形成され、

該収容部は、少なくとも前記金属板材における前記第 2 板面部を位置決めする位置決め部を有し、

前記金属板材には、遊技媒体に設けられた線材を前記隙間に向けて誘導可能な誘導部が設けられ、

前記通過口の一部が前記金属板材における前記隙間と連通しており、

前記球送り手段に対する前記金属板材の取付は、該金属板材における前記第 1 板面部以外の部位でなされるものである

ことを特徴とする。

また、本発明とは別の発明として以下の手段を例示する。

手段 1：遊技機において、

「遊技者の操作によって遊技媒体が打込まれる遊技領域と、

該遊技領域内へ遊技媒体が打込まれることで変化する遊技状態に応じて前方へ向って光を照射可能とされ、正面視で該遊技領域内の所定位置に配置される発光手段と、

該発光手段の前側に配置されると共に該発光手段から照射される光の透過によって所定の第一絵柄を表示可能とされた絵柄表示部材と、

該絵柄表示部材の前側で所定距離離間して配置され、前記第一絵柄と略同じ形状に彫刻された刻設部を有する透明な前カバーと
を具備する」ことを特徴とする遊技機。